

特集

予算審査

令和5年度予算を可決しました!

令和5年度予算とその関連議案については、議長を除く全議員で構成される予算特別委員会（委員長：山戸重治／副委員長：三浦徹）を設置し、3月13日から16日の4日間にわたって審査を行いました。

審査の結果は、3月22日の本会議で報告し、討論、採決の結果、付託を受けた議案すべてを原案のとおり可決しました。

(※1万円未満四捨五入)

令和5年度尾道市予算	
一般会計	591億8,000万円
特別会計(8会計)	345億7,810万円
企業会計(3会計)	256億8,307万円
総 額	1,194億4,117万円

予算審査

予算全般

問 新年度当初予算のキャッチフレーズである「とりもどそう!元気尾道スタート」が意味する具体的な内容は。

答 コロナ禍以前のように進んでいきたい、という趣旨であり、主に子育て、DX(デジタルトランスフォーメーション)、スポーツ、ゼロカーボンなどを中心として、安心して子育てができる環境づくりや働き方の支援、健康づくりや地域の活性化を目指す予算としている。

一般会計
歳入

歳入全般

問 ふるさと納税寄附金および企業版ふるさと納税寄附金について、新年度はそれぞれの程度見込んでいるか。

答 個人は1万8,000件程度を見込んでいる。企業版については、件数ではなく地域再生計画の事業に納税いただくもので、7,100万円を計上している。

一般会計
歳出

人口増加策

問 尾道市が行う移住定住の推進において、定住後のフォロー体制はどうなっているのか。

答 定住者へのフォローが足りていない部分もあると考えるが、今回設置する移住定住コンシェルジュを活用することでしっかりと取り組んでいきたい。

問 新年度にも予算計上されているが、現在実施している「婚活サポート事業」をどう評価しているか。

答 昨年9月から実施しており、徐々に会員も増えてきている。また、別途婚活イベン

トを開催し、5組のカップルが成立するなどの実績もある。こういった取り組みを通じてさらに会員も増えてくるものと考えている。

一般会計
歳出

くらし・まちづくり

問 コミュニティ助成事業補助金の額が年々減少している理由は。

答 この補助金は町内会からの要望をもとに計上するもので、毎年変動がある。集会所建設があると金額が上がる。

問 小型浄化槽設置整備事業の計画概要と1基当たりの補助金を増額した理由は何か。

答 整備量380基のうち、新築180基、改築200基を予定している。また、宅内の配管工事費と便槽の撤去費用が国庫補助の対象になったため、市の補助金も上乘せした。

問 シティクリーニング委託料の150万円について、その内訳は。

答 各地域で行われるシティクリーニングに応じる車両の借り上げ料で、4トン車7台、2トン車20台、パッカー車12台分を計上した。

問 イノシシの捕獲頭数を増やすため、イノシシ対策に特化した専任職員を配置してはどうか。

答 箱わなに加えて防護柵・電気柵等の補助を行い、イノシシが近づきにくい環境を作るなど被害対策に努める。今の段階で、専任職員の配置は考えていない。

問 多世代同居等住宅取得支援事業において、補助金額を1件あたり30万円とした理由は何か。

答 既存の補助事業との兼ね合いと全体の予算とのバランスを考えた。現在国が実施している「こどもエコすまいる支援事業」と併用す

ることも可能である。

問 新年度消防が導入する映像通報システムの概要は。

答 このシステムは、ライブ イチイチキョウ Live119というもので、通報者のスマートフォンから送信された映像により現場を確認することで、的確な状況把握や救命処置の指示等、迅速な現場対応ができるものである。

問 スマート公民館整備事業の概要を伺う。

答 公民館におけるWi-Fi環境の整備を進めるとともに、オンラインによる利用予約や暗証番号での鍵管理を行うほか、交流スペースを整備することで、若者が利用しやすい環境を整えるものである。

一般会計
歳出

しごと・産業

問 女性の活躍支援事業委託料について、その取り組み内容は。

答 ワークライフバランスへの関心を高め、働く意欲のある女性が社会で活躍できるような環境改善を目指してセミナーを行っていく。

問 企業誘致のためには産業団地の整備が必要と考えるが、団地の適地選定に至らなかった理由と現在の状況について伺う。

答 調査を行ったいずれの地区においても税金等を考慮した今後50年間の事業収支を試算したところ、大幅な赤字となったため断念した。現在、市の遊休地を含め、民間事業者と連携した団地整備を模索しているところであり、全力で取り組んでいきたい。

一般会計
歳出

健康

問 予防接種事業予算の減額理由と、子宮頸がん予防ワクチンの事業計画について伺う。

答 予算は人口減少と実績等を踏まえて減額している。子宮頸がん予防ワクチンについては、新年度9価のワクチンが使える予定で進んでおり、令和4年度から期間限定で行っているキャッチアップ接種^{*}も引き続き行っていく。
※キャッチアップ接種…積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方を対象に実施する予防接種のこと。

問 尾道市自殺対策推進計画が延長した理由と自殺者数の推移について伺う。

答 令和3年が37人、令和4年が21人となっている。国の計画が1年延びたことにより、尾道市も今の計画を1年延長し、令和5年度までとした。今年度実施したアンケート結果

も踏まえて次の計画を策定していく。

一般会計
歳出

子育て・教育

問 「ぼかぼか★おむつ定期便事業」の事業概要と生後2か月から対象とした理由は。また、本市独自の取り組みはあるか。おむつの種類やおむつ以外の育児用品を選択することはできるか。

答 生後2か月から1歳までの乳児を養育する保護者に対し、毎月1,800円相当のおむつ等育児用品を配達し、見守りや育児相談等の傾聴^{けいしやう}を行う事業で、令和5年10月から実施する予定としている。対象者の把握に1か月は要するため、先行自治体より早く最大限早期とした結果、生後2か月からとした。配達の際の相談をぼかぼかの専門職の支援に繋げていく。

子どもの月齢によって必要なものも変わってくるため、様々な育児用品について選べる仕組みづくりを構築していきたい。

問 (仮称)北部認定こども園建設事業に関して、木ノ庄東幼稚園と三成幼稚園が統合に至った経緯と、新たな設置場所を選定した理由は。

答 「尾道市就学前教育・保育施設再編計画」において認定こども園の設置を計画していたが、両施設の老朽化や児童数の減少などの状況も踏まえ、一つの施設に統合する計画に至った。また、設置場所の選定理由としては、木ノ庄東幼稚園に通う児童の多くが木ノ庄町より南側に在住していることや、就労している保護者の利便性を考慮し、三成地区が最適と判断した。

問 就学前施設へ送迎バスを導入する考えは。

答 公立の施設については保護者による送迎を原則としている。ゼロ歳児から預かる施設もあり、送迎の安全管理の問題があるため、今後研究してまいりたい。

問 不登校児童生徒が通う適応指導教室のリニューアル内容は。

答 名称を「教育支援センター」に変更し、因島はっさく教室については因北中学校内から因島重井町体育センターに移転する。学校復帰を目指すだけでなく、体験活動やコミュニケーションスキルのトレーニングなど、社会で自立するための指導も行っていく。

国民健康保険事業特別会計

問 子どもの保険料均等割軽減制度の概要と

その対象人数は。

☞ 子育て世帯の経済的負担を軽減する狙いで未就学児を対象に均等割部分の5割を軽減するもので、6歳までの未就学児444人、世帯としては335世帯を見込んでいる。

介護保険事業特別会計

問 居宅介護サービス費と施設介護サービス給付費が増額した理由は。

☞ 令和2年からコロナウイルス感染症の影響で利用控えの状況にあったが、令和5年度においては、以前の状態に戻りつつあると考え給付の伸びを見込んだためである。

後期高齢者医療事業特別会計

問 医療費の推移と保険料の見込みは。

☞ 医療費は令和5年度見込みで約274億8,000万円、令和3年度実績では約250億7,000万円である。また保険料については2年毎に保険料率を改定しており、現在は令和4年度と5年度の2か年分の保険料率が決定しているので、令和5年度も今年度と同じ保険料率で、均等割額が4万5,840円、所得割率が8.67%である。

下水道事業会計

問 「汚水・し尿統廃合基本計画」の策定に着手するとのことだが、どのような計画で、事業費はどうか。

☞ 汚水・し尿処理場やポンプ場等の施設が建築後30年程度経過している。すでに老朽化している施設もあることから新築・改築の必要があり、そのための多額な費用も想定さ

れる。このため、し尿処理施設も含めた統廃合も視野に入れた新たな施設整備を検討し、建設費や維持管理費等のコストを抑えて効率的な事業運営が図られるよう計画を策定したいと考えている。また計画策定の事業費については、全体事業費として2,649万9,000円で、国から2分の1補助があり、残りの市の負担分を汚水とし尿の処理水量で案分して企業会計と一般会計で負担する。

病院事業会計

問 令和4年度から脳神経外科の医師が着任していると聞いているが、その着任経緯は。

☞ 脳脊髄液漏出症^{のうせきずいえきろうしつしゅう}について診断がつくまで時間がかかり、診断されても治療する医療機関が少ないことを課題と考えていたところ、市民病院医師と交流があり、脳脊髄液漏出症治療の第一人者である医師が他の医療機関を定年退職するのを機に着任し、令和4年4月から市民病院において本格的に治療を開始する運びとなったものである。また現在40人から50人の患者が入院治療されており、北海道から鹿児島まで全国から来院されている。またこうした状況から、令和5年4月には脳脊髄液漏出症治療センター^{のうせきずいえきろうしつしゅう}を開設して患者の受け入れ体制を整える予定である。

問 市民病院と公立みつぎ総合病院の令和5年度予算における経営状況はどうか。

☞ 市民病院の収益と費用の前年度比較で、それぞれ増えているが、予算的には収支として均衡以上のものが出ているので安定経営に結びついており、適正な経営状況であると考えている。また公立みつぎ総合病院は費用が増加しているものの収支の均衡は取れている。

議会人事

議会改革特別委員会は審査を終了いたしました

議会改革特別委員会は、令和元年9月18日に「継続的な議会改革を推進するための具体的な取組方法等の調査検討を行うこと」を目的に設置されましたが、3月22日の本会議において審査報告を行い、審査を終了いたしました。常任委員会の再編成、常任委員会のYouTube録画配信、長期欠席議員の議員報酬を減額する条例を制定するなどの成果がありました。

議員の辞職

三浦徹議員から3月31日をもって議員を辞職したい旨の辞職願が提出され、議長がこれを許可しました。

これにより、会派および委員会構成は次のように変更になります。

日本共産党 (1名)

議員団長兼会計 岡野長寿

議会運営委員会 (9名)

委員長 星野光男 副委員長 宮地寛行

岡村隆 村上隆一 宇根本茂 二宮仁

前田孝人 巻幡伸一 檀上正光